

県立学校教頭としての役割



茨城県教育研修センター
所長 安藤 昌俊

1

教頭先生は学校の中枢(扇の要)

- 教頭の仕事は校務を整理すること
「整理する」とは、学校の教育活動を仕切ること
- 仕事の3割は校長先生を相手に、7割は職員相手に
校長先生に接する時間が長すぎると、職員が見えなくなってしまう
職員に接する時間が長すぎると、校長先生を孤独にってしまう

2

校長先生が安心して仕事を任すためには

- 服務関係の法令・通知は熟知していますか
校長先生に教えてもらうようでは、半人前
分からないことは、自分で納得するまで調べる
自分で法令・通知ファイルを作ることが必要
- 教職員をコントロールできていますか
集団を動かすために、まず自分の右腕をつくること
- 的確な報告・連絡・相談ができていますか
仕事に軽重をつけないと全てを報告するハメに
上司に相談する時は自分の考えをしっかりともつ

3

学校ホームページは教頭の仕事ではない

- 学校HPの更新は教員に任せよう
HPを充実させるために、一人で担当してはいけない
- マスコミへの資料提供は教頭が先頭に立って行おう
県の広報担当者に積極的に資料提供していますか
地域の新聞社支局記者と仲良くしていますか
- 生徒たちの教育活動を積極的に広報しよう
生徒は広報していない学校には興味を持ちません
生徒の活動を動画でも配信していますか

4

広報だけでは学校の魅力は伝わらない

- 広報活動は定員確保の手段の一つにすぎない
全職員に広報活動をさせてみた結果、効果があった
学校HPを充実させた結果、ある程度効果があった
各駅にポスターを貼ってみた結果、少し効果があった
- 学校の教育活動を充実させることが最も効果がある
生徒が楽しく学校生活を過ごしていますか
生徒指導で生徒を縛り付けていませんか

5

楽しい授業と学校行事は学校の両輪

- わかる楽しさを実感できる授業を行う
教師が自己満足の授業をしていませんか
カリキュラムが生徒の進路選択を狭めていませんか
- 学校行事では生徒が楽しんで完全燃焼する
教師主導で学校行事を行っている、生徒の学びは少ない
生徒が創り上げているという意識を持たせよう

6

教員を育てるということ

- 言ってダメなら、やってみせる
何度言っても動かない教員には、自分でやってみせる
- 職務命令は最後までとっておく
最初から職務命令を切り出すと、教員の心は動かない
- 全職員と良好な人間関係を築く
毎日、何人の教員と話をしていますか
事務処理に追われているように見える教頭ではダメ

7

教頭として1年目にできること

- 信頼できる部下を複数もとう
教務主任，生徒指導主事，進路指導主事，学年主任など，何人いますか
- 様々なトラブルを未然に解決する
生徒指導，地域住民，教員のトラブルなど，教頭が先頭に立って解決していますか

8

最後に

- 教頭は目立ちすぎず縁の下の力持ち
教員のさまざまな活動を目立たせるために、管理職は努力する
- 教頭の評価は教員が行う
離任の時に、教頭先生と一緒に仕事できてよかったといわれたら成功です